▶ワークスペースにある色紙をつかって、それぞれのコーナーの「きおく」を、色とかたちで自由に「きろく」してみよう。

きおくのきろく

Records of my Recollection

1.　2.

3.　4.

5.　6.

（　　高校）　　年　　組　　番　名前

なつやすみの美術館6 きろく と きおく
高校生〜一般向けワークシート

このワークシートは「なつやすみの美術館 6 きろくときおく」展 (2016) にあわせて、和歌山美術館教育研究会に参加する教員および有志と和歌山県立近代美術館が共同で作成しました

きろくってナニ？
きおくってナニ？

このワークシートを使って

いろんなきろくときおくってあると思うんやけど〜・・・

WHY DON'T YOU THINK ABOUT RECORDS AND RECOLLECTION?

1. いろんな場所の きろくときおく

作品の中に、いろんな場所が隠れているよ。まずは探してみよう。

▶「わたしの思い出の場所」はどこだろう。
絵や言葉で自由にあらわしてみよう。

旅行で行った場所？
いつもいるあそこ？
こっそり落書きしていた机の隅？

2. わたしやだれかの きろくときおく

▶ このコーナーにある作品は、作者が自分を描いたり、身近な人を作品にしているよ。一つを選んで、その作者がどんな人なのか想像してみよう。

選んだ作品：

作者はどんな人？

作者と作品になった人は、どんな関係なのだろう。

▶その作者になりきって、描かれたり、作られたり、撮られたりしている人に手紙を書こう。（自画像を選んだら、未来や過去の作者に宛てて書こう）

3. いろんなものの きろくときおく

◁大西伸明さんが作った《katorisenkou》と
大久保陽平さんが作った《SUPONJI》▷

▶できるだけたくさん共通点を見つけてみよう

▶10円玉などの硬貨を一つ、右の枠の中に「きろく」してみるとしたら？

かたちや大きさをそのまま伝えるために、君ならどうやって「きろく」する？

今、10円玉などを持っていなかったら家に帰ってやってみよう

実際に硬貨を取り出して、考えてやってみよう。

4. 時間の きろくときおく

ここにある作品は、「時間」を「きろく」しているよ。それぞれ作るのにかかった「時間」を観察したり、想像したりしてみよう。

▶一番長く「時間」が「きろく」されている作品はどれだろう？

▶このコーナーから作品を一つ取りあげて、作者がその「時間」を「きろく」したいと思った理由を考えてみよう。

5. できごとの きろくときおく

▶切手になったいろいろな写真。それぞれに違う数字が書いてある。一体どういう意味なんだろう。

タイトルの「POST WAR」には「戦後」という意味があるんだ

「POST」という言葉にも注目してみよう

▶たくさんの切手になった作品から、どんな印象を受けた？

▶作者の太田三郎さんは、今もこの作品を作っているよ。どうしてだろう。

6. 美術館の きろくときおく

▶気に入った美術館の印刷物はどれ？ タイトルとそれが作られた年を書いておこう。

▶気に入った理由も書いておこう。

▶美術館は何をするところなんだろう。